

2020 年度 化学工学会九州支部アニュアルレポート

令和 2 年度 九州支部関連行事

月	日	内容
4	20	第1回執行部会
5	1	第1回幹事会
6	27	第 57 回化学関連支部合同九州大会(中止)
7, 8	7/14~8/7	第 51 回化学工学の基礎講習会(7/14, 15, 16, 29, 30, 31, 8/5, 6, 7)
7	17~18	第 31 回九州地区若手ケミカルエンジニアリング討論会(中止)
7	20	臨時執行部会
8	31	第 25 回化学工学会九州支部学生賞審査会
9	17	第2回執行部会(拡大)
10	26-28	The First International Workshops of Chemical Engineering IWChE(グアム) (中止)
12	5	International Symposium of Chemical Engineering ISChE2020(福岡) (中止)
12	5	化学工学会九州支部オンライン学生発表会
1	22	第3回執行部会
1	22	第 23 回 「企業と大学・高専の人材育成懇談会」
3	16	第2回幹事会

令和 2 年度「第 51 回化学工学の基礎講習会」報告

【開催日】 7月14日～8月7日（全9回）

【会場】 九州大学西新プラザ 大会議室
福岡市早良区西新 2-16-23

【受講者】

延べ受講申込数 158 名
延べ出席者数 137 名

		申込/出席
1. 化学工学基礎	(7月14日(火))	18 / 15
2. 流動	(7月15日(水))	19 / 19
3. 伝熱	(7月16日(木))	18 / 16
4. 吸着・イオン交換	(7月29日(水))	16 / 13
5. 晶析	(7月30日(木))	18 / 18
6. 反応工学 (1)	(7月31日(金))	18 / 14
7. プロセス制御	(8月5日(水))	18 / 15
8. 反応工学 (2)	(8月6日(木))	15 / 11
9. 調湿・乾燥	(8月7日(金))	18 / 16

【所属】

- ・キャタリストリサーチ(株)
- ・西部ガス(株)
- ・(株)エーピーアイコーポレーション
- ・三菱ケミカル(株)
- ・(株)江藤製作所
- ・JNC(株)
- ・住友化学(株)
- ・興人ライフサイエンス(株)
- ・日鉄ケミカル&マテリアル(株)
- ・日鉄機能材製造(株)
- ・三井化学(株)
- ・(株)新菱
- ・昭栄化学工業(株)

(申込順)

第25回化学工学会九州支部学生賞審査会 報告

令和2年8月31日に第25回化学工学会九州支部学生賞審査会がオンライン（Microsoft Teams を用いた口頭発表）にて行われました。本学生賞は、学生自身の能力を審査する観点から、研究の理解度やプレゼンテーション能力を特に重視して毎年審査が行われている支部企画です。本年は博士課程5名、修士課程8名が審査会において研究発表を行い、8名の審査委員によって厳正に審査が行われました。その結果、受賞者は下記の通り、博士課程の部は2名、修士課程の部は3名の方に決定しました。後日賞状と副賞（図書カード 5000 円分）が郵送されました。発表した学生諸君の研究への理解、発表能力も高いレベルのものが多く、今後のさらなる活躍が期待される審査会となりました。一方で一部の学生の発表では本審査会の趣旨と異なり一般の学会発表のように発表される例もありました。

長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様に、心より感謝申し上げます。

【博士課程の部】

花田隆文 （九州大学）

「深共晶溶媒による協同抽出系の構築とリチウム分離への応用」

北野裕之 （九州大学）

「バイオ人工肝臓への利用を目指したヒトヘパトーマ細胞の開発」

【修士課程の部】

小菌花果 （北九州市立大学）

「酸素透過性マイクロウェルチップを用いた細胞特性評価」

弘胤智美 （九州大学）

「機械学習による RBS 変異株の細胞増殖制御」

土田悠斗 （九州工業大学）

「誘電体粒子充填バリア放電により窒素活性化を行う
相界面反応のアンモニア生成選択効果」

審査員氏名（敬称略、順不同）

春山哲也、中澤浩二、武井孝行、瀬戸弘一、川喜田英孝、河邊佳典、佐々木満、井上元

2020 年度 化学工学会九州支部アニュアルレポート

化学工学会九州支部オンライン学生発表会 報告

令和2年12月5日に化学工学会九州支部オンライン学生発表会（Microsoft Teams を用いた口頭発表）が行われました。今年は各学会の大会やシンポジウムの多くが中止となっています。化学工学会九州支部と化学工学会九州支部若手エンジニア連絡会（Q・NET）としては、九州地区の学生諸君にとって研究成果を発表し討論する機会が減少することを危惧し、本大会を開催することにいたしました。本発表会にて研究討議や情報収集を行い、学生諸君の研究活動の発展に繋がる機会を提供することを目的と、そして学生会員の研究奨励のため、優秀発表賞の審査と授与を行いました。26名の審査委員によって厳正に審査が行われ、その結果受賞者は下記の通り9名の方に決定しました。後日賞状と副賞（図書カード3000円分）が郵送されました。発表した学生諸君の研究への理解、発表能力も高いレベルのものが多く、質疑でも活発な議論がなされました。

長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様、心より感謝申し上げます。

A003 堺洗稀（福岡大学）

「水-エタノール混合液を助溶媒とした液体二酸化炭素抽出法によるクチナシの果実からのクロセチン誘導体の抽出」

A006 有森俊太（北九州市立大学）

「廃リチウムイオン電池からのリチウムの選択的分離回収」

A013 程志欣（九州工業大学）

「液滴の固体表面への衝突時における液体物性が液滴変形に及ぼす影響」

A015 上野陸太郎（九州大学）

「多孔質膜の成膜条件と表面粗さの関係」

B001 宮崎祐典（九州大学）

「機械学習を利用した生体適合性イオン液体の分子設計とその毒性予測モデルの構築」

B003 坂本洗大（鹿児島大学）

「オートファジーを誘導する DEC2 の細胞死誘導因子 BAX の発現制御の解析」

B004 原江希（九州大学）

「生体適合性イオン液体を用いた経皮吸収液晶製剤の開発」

B010 井上雄太（九州大学）

「後眼部への薬物送達を目的としたナノゲルエマルションの開発」

B017 熊井絵理（九州大学）

「連続回転炉を用いた月土壌の水素還元プロセスおよびその工業的応用」

審査員氏名（敬称略、順不同）

榎本尚也，中澤浩二，岩本光生，弘中秀至，新戸浩幸，森貞真太郎，西浜章平，川喜田英孝，相田卓，大島達也，武井孝行，齋藤泰洋，井嶋博之，稲田飛鳥，吉田昌弘，山本剛，神谷典穂，水田敬，水本博，星野友，岡伸人，田中学，櫻木美菜，シャーミンタンジナ，三浦佳子，二井晋

2020 年度 化学工学会九州支部アニュアルレポート

第 23 回 「企業と大学・高専の人材育成懇談会」 報告

[開催日] 令和3年1月22日(金) 午後1時00分

[会場] オンライン開催 (MS Teams 利用) 懇親会はなし

[企業 18 社]

株式会社トクヤマ 株式会社ツムラ ジェイカムアグリ株式会社 西部石油株式会社 JNC株式会社
株式会社神鋼環境ソリューション KJケミカルズ株式会社 レイズネクスト株式会社 山九株式会社
リファインホールディングス株式会社 日鉄ケミカル&マテリアル株式会社 株式会社高田工業所
三井化学株式会社 株式会社日立プラントサービス MHIソリューションテクノロジーズ株式会社
ニプロ株式会社 大分瓦斯株式会社 株式会社エーピーアイコーポレーション

[高専 4 校・大学 8 校]

北九州工業高等専門学校 佐世保工業高等専門学校 久留米工業高等専門学校
熊本高等専門学校
福岡大学 鹿児島大学 崇城大学 九州工業大学 北九州市立大学 佐賀大学
宮崎大学 九州大学